

公益重視の管理経営の一層の推進

森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるため、森林を整備及び保全していく上で重視すべき機能に応じ森林を5つのタイプに区分し、適切かつ効率的な管理経営を行っています。

国有林の森林の区分

水源かん養タイプ (51%)

水資源を蓄え、良質な水を供給する機能を重視して森林を守り育てます。

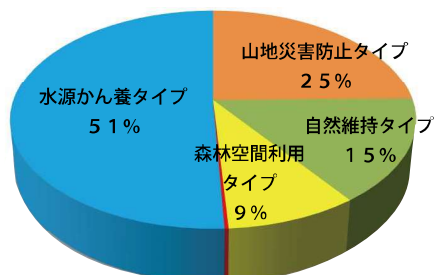


快適環境形成タイプ (0.3%)

空気をきれいにしたり、騒音をやわらげたりする機能を重視して森林を守り育てます。



機能類型タイプ別面積割合



快適環境形成タイプ 0.3%

森林空間利用タイプ (9%)

森林レクリエーションなどの森林とのふれあいの場としての機能を重視して森林を守り育てます。



山地災害防止タイプ (25%)

山崩れなどの災害を防止する機能を重視して森林を守り育てます。



自然維持タイプ (15%)

森林生態系の保全や貴重な野生生物の保護など自然環境を維持する機能を重視して森林を守り育てます。



森林吸収源対策の推進

近畿中国森林管理局管内には約 13万 haの人工林がありますが、71%が 10 齢級^{*1}以上となるなど本格的な利用期を迎えています。また、林齢が高くなると成長が遅くなり、若い木に比べ二酸化炭素の吸収が少なくなるため、利用期を迎えた人工林を主伐^{*2}・再造林^{*3}を行うことによって、齢級構成を平準化し、二酸化炭素の吸収機能の保全及び強化が図られるよう誘導しています。

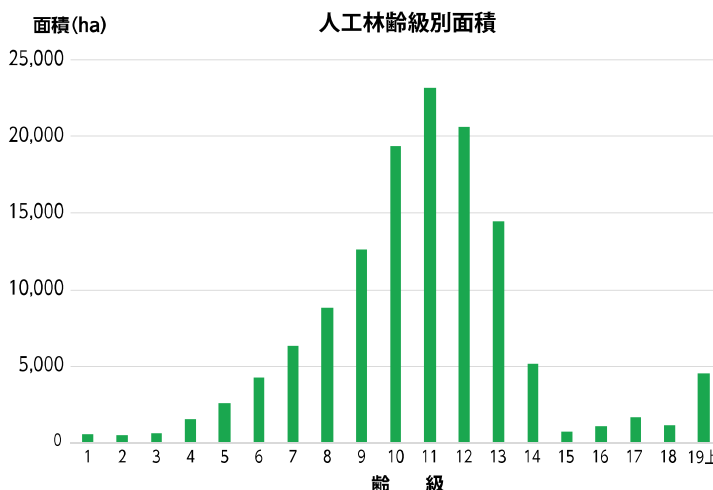
※1 齢 級：林齢を5年毎に区分したものです。例えば、1～5年生は1齢級、6～10年生は2齢級となります。

※2 主 伐：林木の更新を目的として伐期に達した林分を伐ること。

※3 再造林：人工林を伐採した跡地に再び苗木を植えて人工林を造ること。



森林整備（主伐・再造林）の実施



安全・安心な暮らしの実現

～治山事業～

管内の国有林は、都市近郊林をはじめとする居住地に近い里山と位置付けられるものが数多く存在しており、山地崩壊、林野火災等の災害が直接住民に被害を及ぼす可能性も高いことから、治山事業等の効果的实施を通じて国土保全、防災対策を進め、山地災害等の防止及び復旧に取り組んでいます。近年は局地的な集中豪雨が増加しており、近畿中国森林管理局管内でも紀伊半島大水害(H23.9)や広島豪雨災害(H26.8)、平成30年7月豪雨災害等、大規模災害が発生しています。これまで治山事業により荒廃山地の復旧整備を進めてきたところであり、地域の復旧・復興に向けて、引き続き計画的に事業を実施します。

【平成30年7月豪雨災害】
東広島地区 民有林直轄治山事業*の実施状況
(広島森林管理署)



被災直後の状況(H30)
(東広島市・八本松区域)



事業完了(R2)
(東広島市・八本松区域)

※民有林直轄治山事業

民有林における治山事業は基本的に都道府県が実施しますが、大規模な山地災害が発生し、事業の規模が著しく大きい場合、高度な技術を要する場合等で国土保全上特に重要であるものは、都道府県等の要請を踏まえて、国(林野庁)が直轄で事業を実施しています。

～災害への迅速な対応～

山地災害発生の際には、職員が現地確認やヘリコプターによる調査を実施し、全容を把握します。これに基づき必要に応じて応急対策を実施するとともに、本格的な復旧工事に向け現地の詳細調査・測量を行うなどの初動対応を行い、被災地域の早期復旧・復興に全力を挙げています。



石川県、福井県大雨による被害の現地確認調査 (R4. 8)



ドローン(UAV)を活用した施設点検調査 (R4. 8)



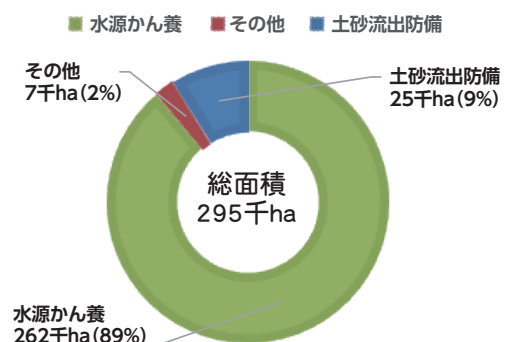
局防災訓練(本部設置運営訓練)の実施 (R4. 9)

～保安林～

保安林とは水源かん養や土砂流出防備など公益的機能を発揮させるために伐採の方法を規制するなど、特別に管理されている森林です。

近畿中国森林管理局では、国有林野の94%を保安林に指定し、公益的な機能を高度に発揮させるための森林整備を推進しています。保安林指定の箇所数は1,250箇所、面積約29万haです。

●管内の保安林



多様で健全な森林づくり

近畿中国森林管理局では、管理・経営する森林が都市近郊、水源地域、山岳地域など様々な場所に位置しています。

令和3年6月に新たに決定された「森林・林業基本計画」の方向性に基づき、国土の保全・水源のかん養・生物多様性の保全等、公益的機能を維持増進するため立地条件に応じた多様な森林の整備に取り組んでいます。

～主伐・再造林、長伐期化等～

林地生産力が比較的高く、傾斜が緩やかな場所に位置する育成単層林は、多様な伐期による主伐と植栽により確実な更新を図り、主に木材等生産機能を発揮させます。



(長伐期人工林) 鳥取県鳥取市

～複層林化(植栽による育成複層林への誘導)～

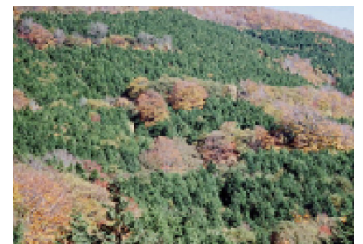
水源かん養等の公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林では、自然条件等に応じ帯状又は群状の伐採と植栽による確実な更新により、効率的に育成複層林に誘導します。



(育成複層林) 広島県庄原市

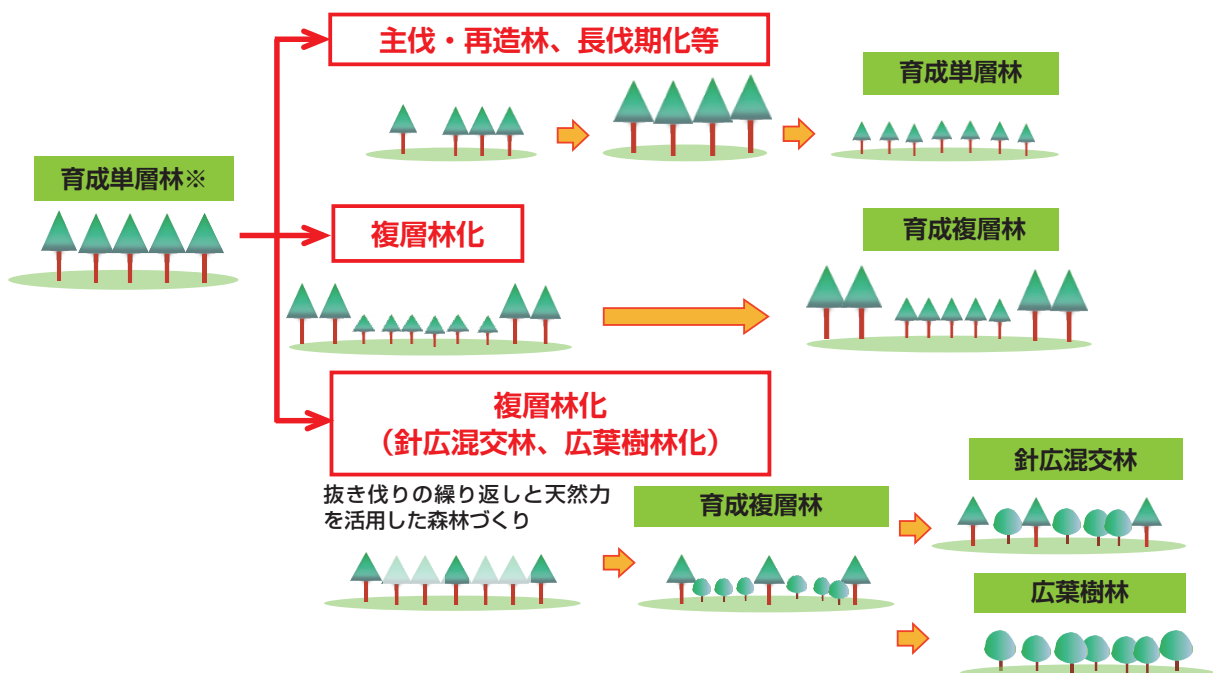
～複層林化(天然力を活用した森林づくり)～

林地生産力が低く、公益的機能の発揮のため継続的な育成管理が必要な森林は、自然条件等に応じて択伐や帯状又は群状の伐採と天然力を活用し、針広混交の育成複層林や広葉樹林に誘導します。



(針広混交林) 広島県庄原市

育成単層林から多様な森林への誘導のイメージ



※育成単層林：森林を皆伐により伐採したのち、単一の樹冠層から成る森林として人為により成立・維持される森林。
(例) 植栽によるスギ・ヒノキ等からなる森林

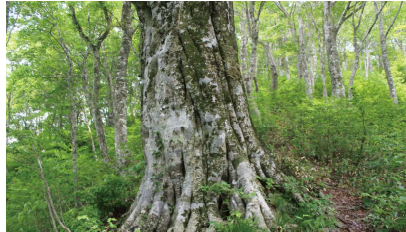
生物多様性の保全

希少な野生生物の生育・生息地等を保護・管理する「保護林」、それらを中心にネットワークを形成する「緑の回廊」、溪畔周辺を本来の植生に誘導する「溪畔林」を設定し、生物多様性の保全に重要な役割を果たす森林生態系の適切な管理を推進します。

～保護林～



大山森林生態系保護地域



上谷山生物群集保護林



夜叉ヶ池ヤシャゲンゴロウ希少個体群保護林

・森林生態系保護地域

大山森林生態系保護地域等
3箇所 11,630ha
我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林の保護

・生物群集保護林

上谷山生物群集保護林等
8箇所 5,493ha
地域固有の生物群集を有する森林の保護

・希少個体群保護林

夜叉ヶ池ヤシャゲンゴロウ希少個体群保護林等 69箇所 4,295ha
希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護

～緑の回廊(3箇所)～

保護林を相互に連結し、野生生物の移動経路となる「緑の回廊」を森林生態系のネットワーク化を目的として設定しています。白山山系と越美山地は中部森林管理局管内を含み、東中国山地は民有林を含んでいます。

・白山山系緑の回廊

42,867ha
当局管内19,351ha
(石川県、福井県、富山県※、岐阜県※)※中部局

・越美山地緑の回廊

24,482ha
当局管内17,222ha
(福井県、滋賀県、岐阜県※)※中部局

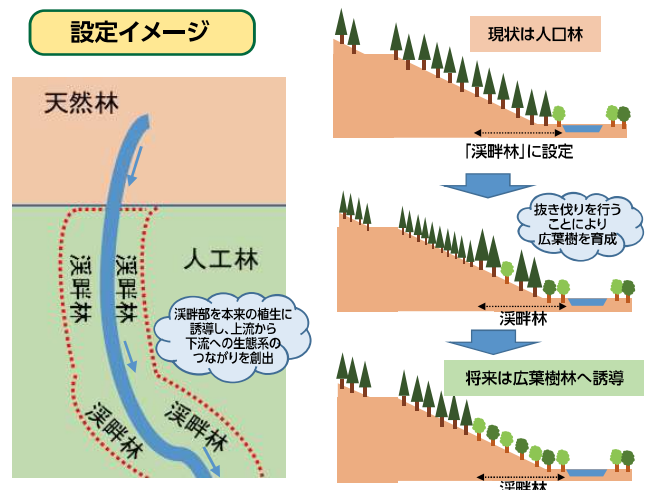
・東中国山地緑の回廊

7,059ha
国有林6,186ha
(兵庫県、鳥取県、岡山県※)※民有林のみ



～溪畔周辺の森林の取扱い～

- 溪畔周辺の森林は生物多様性の保全上重要なので、保護樹帯等を設定して保全に努めています。
- 溪畔周辺の人工林のうち、間伐等により溪畔本来の植生を再生する区域を「溪畔林」に設定し、上流から下流までの森林生態系ネットワークの形成に取り組んでいます。
- 令和4年度現在で12か所、11km、57.28haの溪畔林を設定しています。

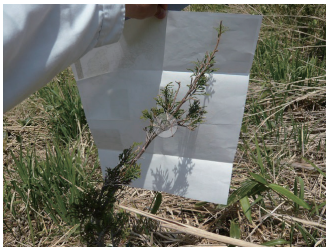


シカ被害対策

～森林被害の状況～

近畿中国地方では、ニホンジカの個体数の増加と分布域の拡大が著しくなっており、管内の国有林においても苗木の食害や下層植生の衰退等が発生し、一部で被害が深刻化しています。このまま下層植生が無くなると土壌流出のほか、土砂災害等のリスクが高まることが危惧されます。

このような被害を防止するため、地域と一体となったシカ被害対策の推進が重要であることから、地域との情報共有を図り、効果的なシカ被害対策に取り組んでいます。



ヒノキ苗木を食害



みやじあがわ
宮城川国有林(和歌山県すさみ町)
【シカ防護柵(斜め張り)】



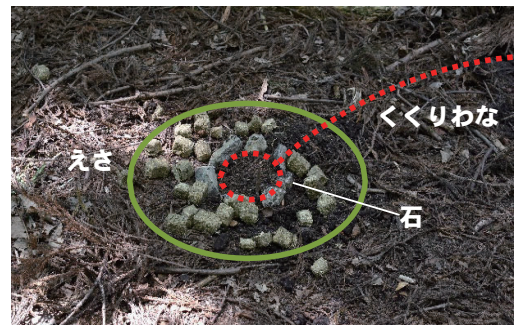
下層植生の亡失による土壌流出



おおすきだに
大杉谷国有林(三重県宮川村)
の被害状況

～捕獲の推進～

「小林式誘引捕獲」は、近畿中国森林管理局職員が考案した捕獲方法で「くくり罠」の周囲に石や誘引するための餌をドーナツ状に設置し、前足が罠にかかりやすくなるよう工夫することで、シカに警戒されにくく、初心者でも簡単に効率良く捕獲できる手法です。けもの道以外に設置することで錯誤捕獲のリスク軽減につながります。



設置のポイント!

事前に餌付けし、餌がよく食べられている場所に設置

罠とワイヤーは土で隠し、障害になる物を置かない

石は地面に埋め込み、頭が指2本ほど飛び出るようにする

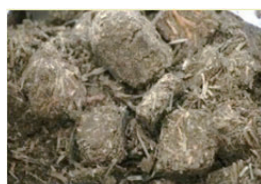
横から見た断面図

えさ 石 わな 石 えさ

罠と石の間を狭くする

誘引用の餌

ハイキューブ・・・
牧草を固めたものでシカを
選択的に捕獲できる



ホームページに YouTube 動画等を掲載

林業の成長産業化に向けた貢献

林業の低コスト化の推進

民有林・国有林を問わず、戦後に植林した人工林が成熟期を迎えています。地球温暖化防止等に資する施業を行うとともに、この成熟した森林資源を循環利用して林業・木材産業の成長産業化に取り組むことにより、社会経済生活の向上とカーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長化」を実現していくこととしています。

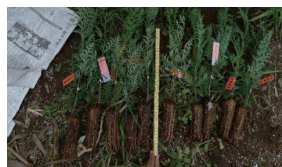
そのためには、森林・林業基本計画（R3.6.15閣議決定）で位置づけた、イノベーションで伐採から再造林、保育の収支をプラスへ転換させる「新しい林業」の実現に向け、林業の低コスト化を推進することが重要であり、近畿中国森林管理局では、次の点に取り組み、その成果については国有林のフィールドを活用しながら地域へ普及していくことに努めます。

①一貫作業システムによるコスト低減

一貫作業システムは、これまでの苗木の植付時期（3月から4月）により出来なかった伐採と連動した植付を、新たに開発された植付適期が広いコンテナ苗を使用することにより可能としたシステムです。伐採・搬出に使う車両系の運搬機械を苗木や防護柵等資材の運搬に活用することで、造林コストの低減が図られます。

②コンテナ苗の使用

コンテナ苗は、これまでの普通苗に比べ植付適期が長く専用の器具を使い効率的な植栽が可能です。



コンテナ苗



普通苗

③植栽本数の削減

これまでの試験結果により植栽本数2,000本/haまで削減しています。今後1,500本/ha試験地の設定に努めます。【低密度植栽試験1,500本/ha区】
（写真左：スギ、右：ヒノキ）



（広島県福山市



新元重山国有林）

④シカ防護柵設置のコスト低減

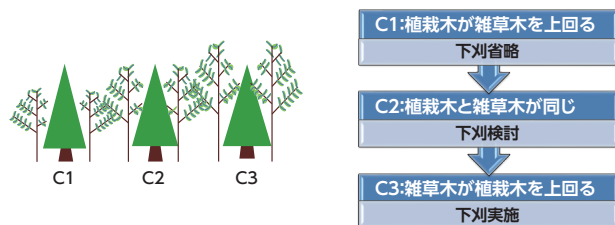
周囲の立木を支柱に利用することにより支柱のコストが無くなり、設置後のメンテナンスが安易になりました。



【安価なネットによるシカ柵の設置】(和歌山県すさみ町 宮城川国有林)

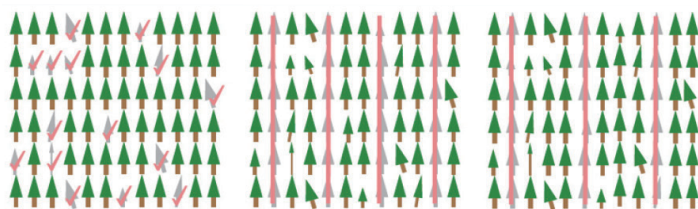
⑤下刈の省力化の推進

標準的な下刈方針として、初年度は省略、2年目、4年目に実施、3年目及び5年目は基本省略とし植生の状況により判断します。また、夏場の炎天下での作業を回避し労働負荷が軽減できる冬下刈に取り組んでいます。



⑥列状間伐の推進

選木に要する時間の短縮、伐採・搬出が容易で労働生産性が向上、かかり木の発生が少なく安全性が高い等残存木の損傷が軽減できます。



定性的な点状間伐

列状間伐（1伐2残）

列状間伐（1伐3残）

列状間伐のイメージ

⑦丈夫で効果的な路網整備の推進

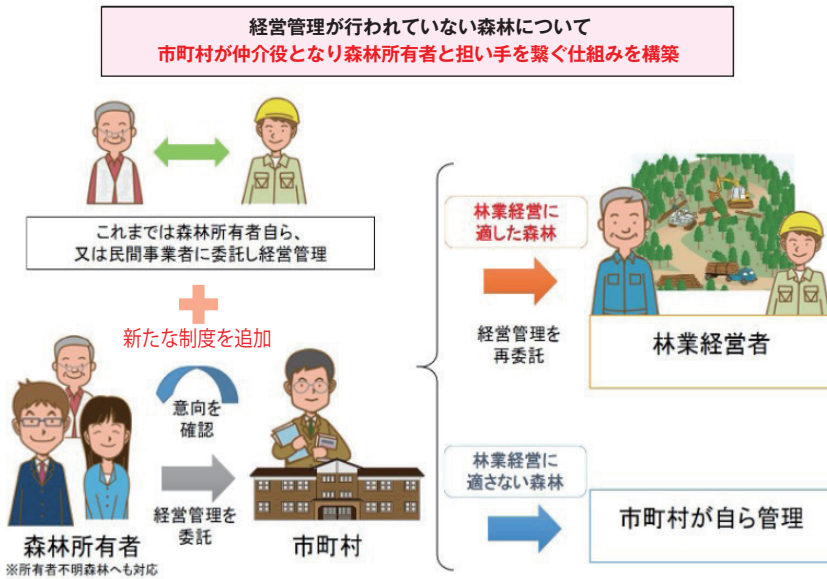
幹線となる林道を補完する林業専用道と森林作業道を組み合わせる路網整備の推進に取り組んでいます。



林業専用道

フォレスター活動の推進 ～民有林行政等への支援～

新たな森林管理システム



これまで森林は、森林所有者が自ら又は民間事業体に委託して森林経営を行ってきましたが、令和元(2019)年度から「新たな森林管理システム」が始まり、経営管理が行われていない森林について、各地域の森林整備は、市町村が経営管理を再委託したり自ら管理するなど中心的な役割を担うことになりました。

林野庁では、市町村が作成実行する「市町村森林整備計画^{※1}」や森林組合等の森林経営の主体が作成する「森林経営計画^{※2}」の作成実行に指導助言等の支援が出来る者の資格として、森林総合監理士（フォレスター）^{※3}の登録を進めています。

近畿中国森林管理局では、各府県のフォレスター等との連携を強化し、地域における林業の成長産業化に向けた各種取組や、国有林のフィールドを活用して得られた成果の普及を通じて、市町村に対する技術的な支援に取り組んでいます。

※1 市町村森林整備計画

地域の特性を踏まえた基本的な森林整備の考え方や、標準的な方法などについて長期的な視点に立った森林づくりの構想となる計画。

※2 森林経営計画

自らが森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林の施業及び保護について作成する5年を1期とする計画です。

※3 森林総合監理士（フォレスター）

市町村森林整備計画の作成実行や森林経営計画の認定など市町村の森林・林業行政を技術面（構想の作成、合意形成、構想の実現）で支援します。

～地域における林業の成長産業化に向けた各種取組～

府県と連携した現地検討会の開催や市町村森林整備計画の策定に対する支援の充実を図ります。



【市町村森林整備計画策定支援】
(石川県白山市)

～複数府県を跨いだ市町村に対する技術的な支援～

低コスト造林やシカ被害対策など、より広域での林業成長産業化のための課題の解決に向けて、隣接する複数府県の民有林関係者を対象に、国有林の事業を通じて得た技術の普及・定着に取り組んでいます。



【架線集材による伐採・造林の一貫作業システムの普及現地検討会】(山口県山口市)

林業の成長産業化に向けた民有林への支援及び木材利用の推進

近畿中国森林管理局では、林業の成長産業化の実現に向けて、地方公共団体、林業事業者等と連携した民有林の支援を進めています。

～森林・林業関連教育機関との協力～

管内において、府県等が設置する林業大学校等の開校や林業コースの新設等が相次いでおり、林業の担い手を育成するための幅広い教育が実施されています。

国有林としても、講師の派遣や現地実習にフィールドを提供することにより、現場技術者の育成に協力しています。令和元年度には、管内の担い手育成機関等と「近畿中国森林管理局管内林業大学校等協議会」を設立し、国の支援策を紹介するとともに林業の担い手育成に関する取組の情報共有等連携の強化を図っており、引き続き人材育成の支援に取り組みます。

知識習得系(座学による講義)



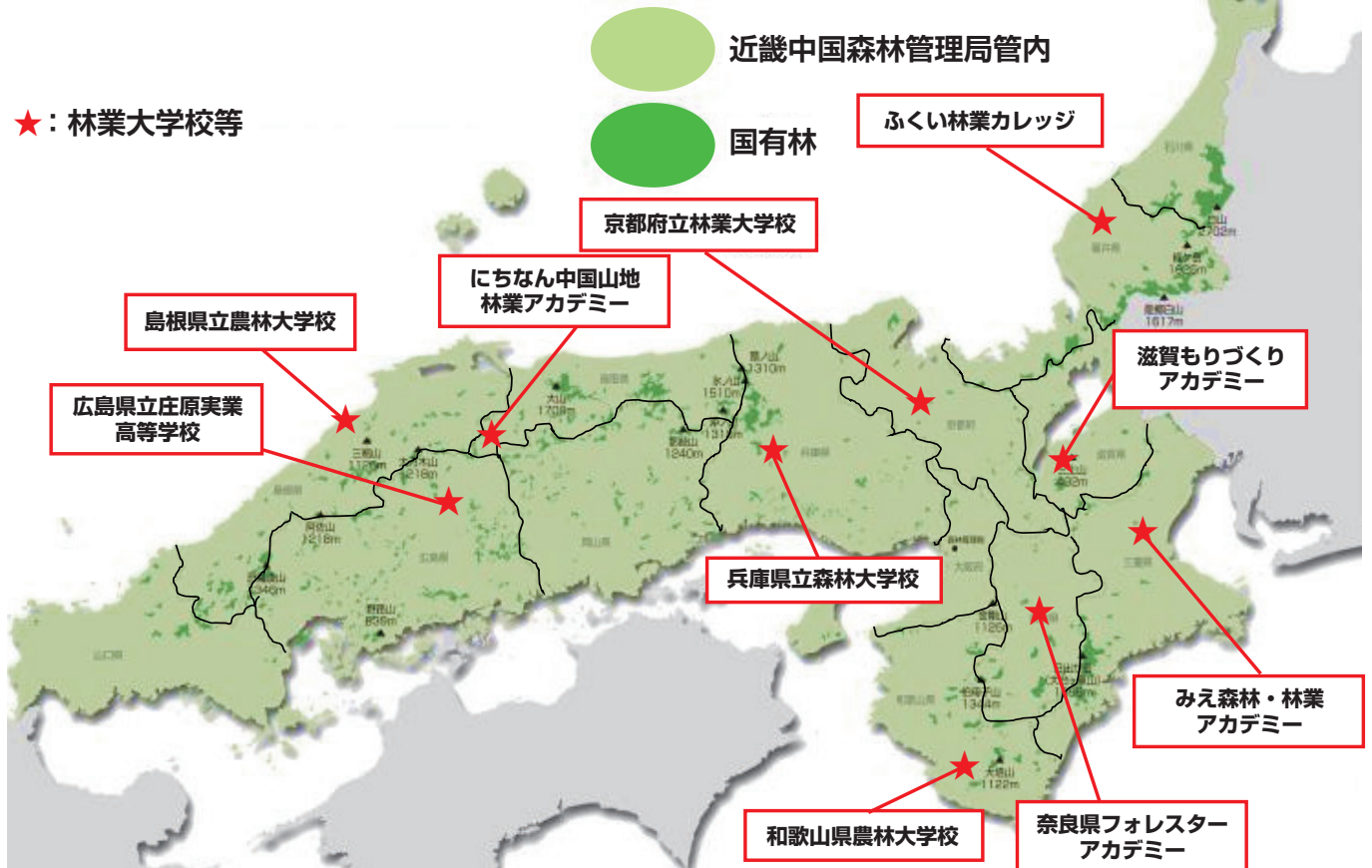
フィールド実践系



【近畿中国森林管理局管内林業大学校等協議会構成員(担い手育成機関)】

ふくい林業カレッジ、みえ森林・林業アカデミー、滋賀もりづくりアカデミー、京都府立林業大学校、兵庫県立森林大学校、奈良県フォレスターアカデミー、和歌山県農林大学校、にちなん中国山地林業アカデミー、島根県立農林大学校、広島県立庄原実業高等学校

管内の森林・林業関連教育機関

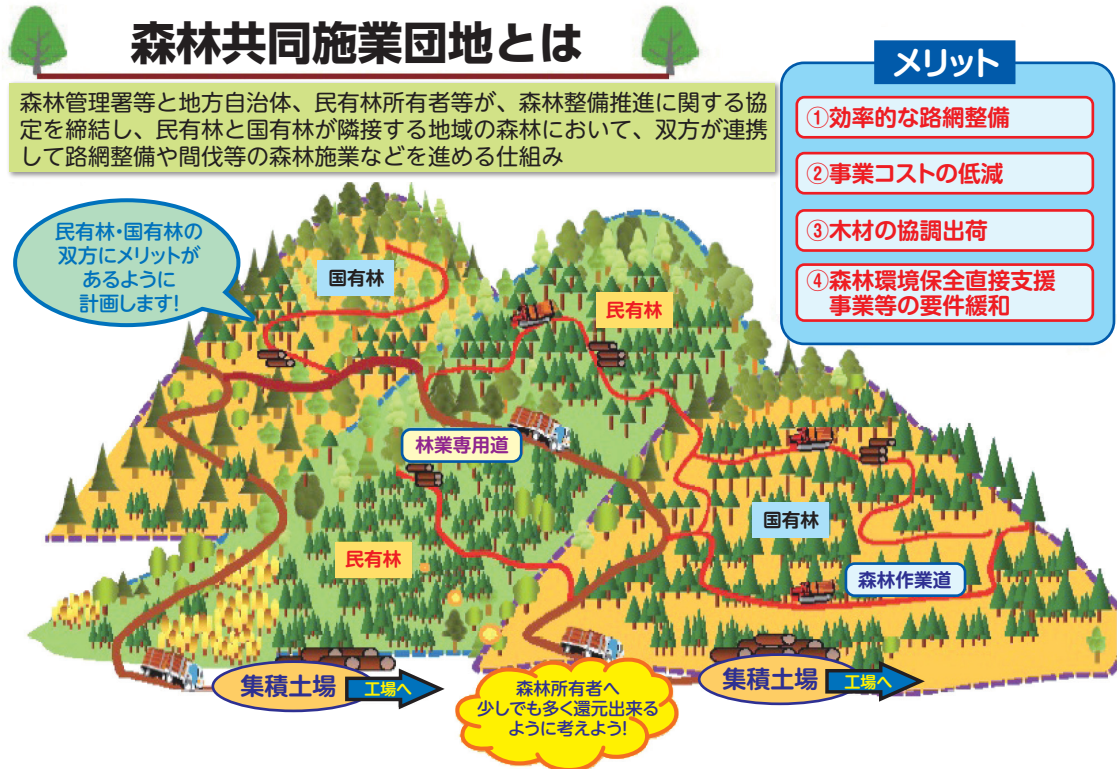


民有林と国有林が連携した森林整備等の推進

～森林共同施業団地～

施業の集約化・低コスト化を進めるため、隣接する民有林と「森林共同施業団地」を設定し、連携した路網の整備や相互利用、木材の協調出荷等に向けた取組を行っています。

令和4年4月1日現在で31箇所の森林共同施業団地を設定し、運営協議会を積極的に開催し、森林整備の計画と実施結果を民国双方が共有するとともに、施業を実施した箇所について関係者で現地検討会や意見交換を行うなどの取組を進めます。



林産物の安定的な供給

公益重視の管理経営や森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を一層推進しつつ、間伐等の機能類型区分に応じた適切な森林整備の結果得られる木材について、地域や樹材種ごとの価格、需給動向を把握しつつ、持続的かつ計画的に供給し、地域の林業・木材産業の活性化に貢献できるよう努めています。

販売については、地域の原木市場、製材工場や合板工場等と協定を締結し、それに基づいて国有林材を安定的に供給する「安定供給システム」に取り組んでいます。

【国有林材供給調整検討委員会】

地域の木材需要が大きく変動した際の木材の供給調整機能を発揮するため、民有林や木材加工・流通の関係者、有識者等による委員会を四半期毎に開催し、地域の木材価格や需給の動向に関する情報を持ち寄り、国有林材の供給調整の必要性について検討します。



国有林材供給調整検討委員会

～立木のシステム販売～

複数の立木販売物件をまとめて、事業者と協定を結んで3年間にわたり販売します。物件ごとの事業期間は原則3年となりますが、売買契約は単年度ごとに行い、搬出期間は各契約後3年以内となります。具体的には、合板等製材用の丸太及びバイオマスエネルギー原料材等（低質材）が生産される比率が高い立木が主体の林分が対象となります。メリットとしては、長期間にわたって伐採・搬出が可能となるため、素材生産を行う事業者の経営の安定化にも繋がります。

～樹木採取権制度～

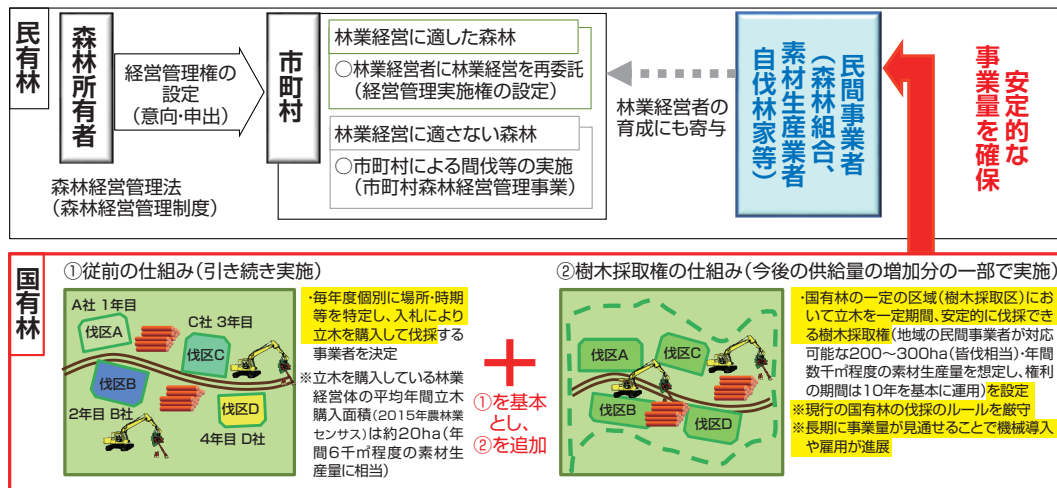
樹木採取権制度は、効率的かつ安定的な林業経営の育成を図るため、国有林の一定地域（樹木採取区）において、一定期間、安定的に樹木を採取できる権利を民間事業者に付与する制度です。

近畿中国森林管理局では、岡山県北部の新見市に所在する用郷山（ようごうやま）国有林外に指定した「近畿中国1新見樹木採取区（区域面積：251ha）」において、令和4年3月18日に株式会社戸川木材に樹木採取権を設定しました。

樹木採取権の設定を契機とした木材のサプライチェーンの強化が期待されます。



樹木採取権契約締結式



～素材のシステム販売～

合板等製材用の素材※及びバイオマスエネルギーの原料材等の安定的な供給を図るため、需要者と事前に安定供給の協定を締結し、丸太等を直接安定的に供給する販売方法です。地域の林業・木材産業の活性化や新たな需要開拓に貢献できるよう、今後より一層推進していきます。

※素材：伐採した樹木を3m、4mなどに輪切りにしたもの。（丸太）



丸太は山土場から工場等へ直送

～素材の委託販売～

質の良い素材を、木材市場を通じてセリ等により製材工場等の需要者へ販売します。木材市場を通じて広く情報を収集し、地域のニーズに応えながら、需要に応じた供給に取り組むこととしています。



木材市場において委託販売

技術開発と普及

地域における林業の成長産業化を見据えた先駆的な技術の開発や実証試験を行い、民有林への普及を推進します。技術開発や試験の実施にあたっては、大学や研究機関と連携を図りつつ、効果的かつ効率的に進めていきます。

～ICTを活用した新たな技術の導入～

森林資源調査や収穫調査の省力化・低コスト化に向け、三次元レーザやドローン（UAV）などのICT機器を活用した森林資源調査及びICT機器の活用のための研修による人材育成、民有林へのICT技術の普及に取り組んでいます。



地上型三次元レーザ機器を使用して林分調査の現地検討会を実施
(兵庫県たつの市 札楽山国有林)



地上レーザ測量データの解析画像



県、市などの行政機関にドローンの講習会を実施（石川県白山市 白山一里野温泉スキー場ドローン飛行場）

～早生樹植栽試験～

主伐・再造林が拡大する中、①輸入材の減少による国産広葉樹へのニーズが高まっていること、②成長が早く、スギ・ヒノキと遜色ない良好な材質であること、③従来の植栽樹種に加え新たな選択肢を広げることに着目して、早生樹*（センダン、コウヨウザン）の植栽試験を行っています。得られた成果の公表やデータの収集など、産学官が連携して取り組んでいます。

*早生樹：20～30年くらいの比較的短い伐期で収穫が可能で、センダン、コウヨウザン等があります。



センダンの植栽試験
・植栽5年目
(岡山県津山市 津川山国有林)



「国産早生樹センダンの使
い道」産学官共催セミナー
(大阪市内)

～里山広葉樹の有効活用と再生～

里山*の広葉樹林の多くが放置され、高齢・大径木化しナラ枯れ等の被害が広がる一方、外国産広葉樹の入手が困難となりつつあり、国産広葉樹へのニーズが高まっています。

このため、民有林を含む里山広葉樹林の有効活用を図り、里山の再生につながる取組を行っています。

*里山：集落の近くにあり、かつては薪炭用木材や山菜などを採取していた、人と関わりの深い森林。



里山広葉樹林の伐採箇所の状況（上空から）
(岡山県新見市 釜谷国有林)



木材市場で販売した里山広葉樹
(岡山県新見市 釜谷国有林産)



里山広葉樹活用シンポジウムの様子
(近畿中国森林管理局)

国民の森林(もり)としての管理経営

森林環境教育の推進

近畿中国森林管理局では、ESD（持続可能な開発のための教育）の考え方を踏まえ、持続可能な社会の構築に果たす森林・林業の役割や、木材利用の意義に対する国民の理解と関心を高める取組を推進します。

具体的には、教育機関等と連携し、幼児期及び学齢期における自然体験活動への国有林の活用や体験活動の指導など、青少年等が森林・林業・木材利用について体験・学習する機会を提供します。

また、森林ESD事例集を教育機関等に幅広く配布し、教育機関と活動団体の連携を支援しその普及に努めます。



【小学生向け体験プログラム】

森の中での体験を通じて、森林が暮らしに果たしている役割を学びます。子ども達は森で学んだことを下級生に伝えるなど主体的・対話的で深い学びを目指します。



【大学生向け体験プログラム】

教員を目指す学生も、森林で学びます。



【教員向け研修】

学校教育における環境教育の実践の場として、森林での体験活動が効果的であることを体験を通じて理解を深めます。



【「森の探検隊」プログラムの普及

森林ESDの考え方を踏まえて、箕面森林ふれあい推進センターが開発した森林環境教育プログラム「森の探検隊」を箕面市教育委員会や箕面自然休養林管理運営協議会と連携し、普及に努めます。

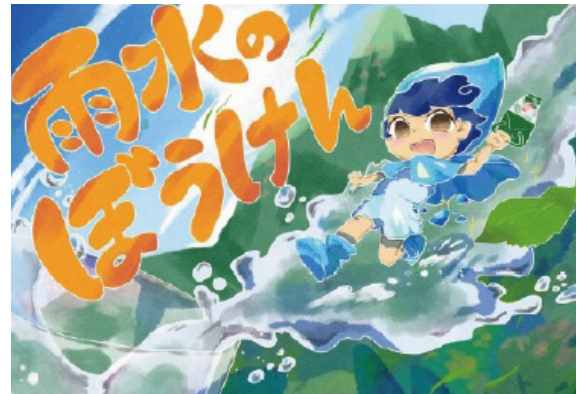
また、常設のポイントを設けて「森の探検隊」プログラムをだれでもいつでも体験できるように整備を行います。

【森林環境教育手引書と紙芝居の作成】

森林環境教育の教材等として森林環境教育手引書〈小学校編〉の作成・配布を行っています。また、職員が作成しました紙芝居をホームページでも公開しています。



「もくざいのヒミツ」



「雨水のぼうけん」

国民参加の森林づくり

「森林づくりに参加したい」「森林とふれあいたい」「森林の豊かさを理解したい」という皆さまの声に応え、国有林を活動フィールドとして提供しているほか、森林ボランティア活動への支援も行っています。活動される団体と森林管理署などが協定を結び、利用いただく制度です。

・ふれあいの森 (25 箇所)

ボランティア団体などの自主的な森林づくり活動のフィールドを提供します。

・遊々の森 (15 箇所)

森林環境教育の推進を目的とした森林教室等へのフィールドを提供します。

・多様な活動の森 (21 箇所)

森林保全を目的とした森林パトロール、美化活動などへフィールドを提供します。



かまがみねやま
釜ヶ峰山国有林 (広島県庄原市)



おおかめだに
大亀谷国有林 (奈良県奈良市)



まつばら
松原国有林 (福井県敦賀市)

・社会貢献の森 (11 箇所)

企業の社会的責任 (CSR) 活動等を目的とした植栽、保育の森林整備などへフィールドを提供します。

・木の文化を支える森 (4 箇所)

地域の伝統文化などの継承に貢献するための国民参加による森づくり活動へのフィールドを提供します。



「極楽の森」の活動の様子 (和歌山県高野町)



「春日奥山古事の森」の活動の様子 (奈良県奈良市)

「日本美しい森 お薦め国有林」

林野庁では、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に設定し、広く国民の皆様へ提供しています。

平成29年4月28日に、優れた自然景観を有するなど、観光資源としての潜在的魅力が認識されるレクリエーションの森を「日本美しい森 お薦め国有林」として全国に93箇所を選定しました。近畿中国森林管理局管内では、安宅林風景林（石川署）など20箇所が選定されており、情報発信・環境整備の取組を進めています。

林野庁HPにおいて「日本美しい森 お薦め国有林」の魅力やアクセス等を日本語・英語双方で紹介しています。そのほか局署等のHPにおいても、各地のレクリエーションの森について情報発信を行っています。



【安宅林風景林】

歌舞伎十八番勸進帳の森 今に語り継がれる義経と弁慶の物語の舞台 安宅の関とクロマツ林
(石川県小松市)



【近江湖南アルプス自然休養林】

花崗岩の巨岩・奇岩でできた景観や琵琶湖の眺望が楽しめます。写真は花崗岩の巨岩
(滋賀県大津市、栗東市)

「日本美しい森 お薦め国有林」 近畿中国森林管理局管内(20箇所)



多様な情報受発信

民有林への支援や地域林業の振興など、新たな役割を果たしていくため、近畿中国森林管理局では、一般の方や地域からの意見要望を把握し、業務遂行の参考としたり、地域と連携して課題解決に向けた取組を行うため、国有林モニターや管内府県・市町村を対象とした地域林政連絡会議等を開催し、森林・林業に関する地域のニーズの把握に努めています。

～一般の方に向けた情報の受発信～

一般の方から「国有林モニター」を公募し、国有林をはじめとして森林・林業に関する様々な情報をご紹介しますとともに、国有林野事業の管理経営の様々な分野に対するご意見・ご要望をいただいています。

また、「国有林モニター会議」と題し、国有林の現場の見学と意見交換会を開催しており、シカ被害対策や治山事業箇所、森林整備箇所等を見学していただきご意見を伺っています。



【治山ダムの見学】

～府県・市町村等に向けた情報の受発信～

近畿中国森林管理局の所管するエリアは14府県と広域にわたることから、地域とのつながりや連携等を図り、それぞれが抱える課題や技術的情報等について情報共有し、協力可能な分野について具体的な取り組みを進めていくため、各署（所）と地元府県等との間で地域林政連絡会議を開催しています。

また、国有林が所在する市町村長との間で連絡協議会を開催し、地域のニーズの把握に努めるほか、国の施策の動向について情報提供したり、地域の林業・木材産業等で貢献可能な分野について、積極的に協力するよう努めています。



【地域林政連絡会議】

～各種イベントを通じた森林に対する理解の醸成～

広く一般の方に森林の恵みや木に触れることを体験いただく各種森林ふれあいイベントの開催を通じて、森林・林業の役割と意義、農山村の現状について理解を深めていただき、豊かな森林資源を次世代に引き継いで行くことを目指しています。



【水都おおさか森林（もり）の市】

～森林散策が仮想体験できる情報を発信～

新たな森林とのふれあい体験として、VR（バーチャル・リアリティ）の技術を利用した森林散策が可能となるデジタルコンテンツ「VR森林散策」を提供しています。



YouTubeで自宅でも森林散策が仮想体験できる！
森林の中を**360度自由**に見ることができる動画を作成しました！

伝統文化の継承への貢献

京都・奈良等の世界文化遺産に隣接する国有林において、地元自治体や一般市民、民間企業等とともに景観に配慮した森林づくりを進めています。また、社寺等の歴史的木造建造物の修復用資材を供給するための「古事の森」や「檜皮採取林」の設定等により、日本の伝統と文化の継承に貢献しています。

～世界文化遺産貢献の森林～

嵐山など京都市内の国有林のほか、広島県の宮島、奈良盆地、紀伊山地の霊場と参詣道周辺にある40箇所の国有林の内約4,800haを森林の重要性や森林と文化財の関わり等を普及する象徴的・総合的な拠点として「世界文化遺産貢献の森林」に設定しています。



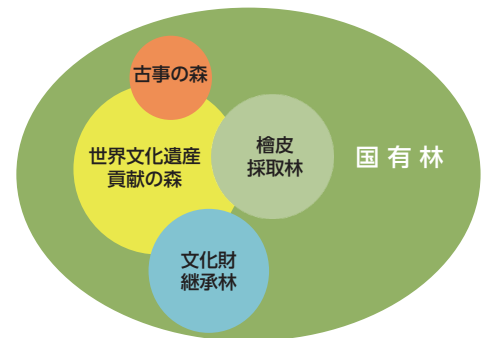
宮島国有林と厳島神社（広島県廿日市市）

～「木の文化」を支える森林づくり～

国宝・重要文化財等の伝統的建造物を後世に守り伝えていくため、修復資材であるケヤキ、クスノキなどの大径材を育成する文化財継承林約200ha、檜皮採取対象林約300haを設定しています。

また、「木の文化」を守り未来に残す取組みとして、一般市民など多くの方々の参画を得て、京都・奈良・和歌山の国有林において「古事の森」づくりを行っています。

木の文化を支える取り組みイメージ



大学、試験研究機関との連携の強化

近畿中国森林管理局は、森林総合研究所関西支所、京都府立大学、京都大学、近畿大学とそれぞれ「連携と協力に関する協定」を締結しています。

これらの協定を締結したことによって、各機関が有する森林・林業・木材産業に関する専門的かつ高度な知識・技術と、近畿中国森林管理局が有するフィールド、資源、組織力を相互に活用して、地域からの森林経営や林業に関するニーズや課題に効果的、効率的に対応していくことが可能となっています。

～森林総合研究所関西支所～

シカ被害対策など様々なテーマの共同試験を実施しています。また、林業の低コスト化に関する技術の普及を目的として、平成25年度から、森林総合研究所関西支所と連携して、民有林関係者を対象とする低コスト再造林、スマート林業、シカ被害防護対策といったテーマで現地検討会を開催しています。



再造林の省略化とシカ被害対策に関する現地検討会（和歌山県すさみ町 宮城川国有林）

～京都府立大学、京都大学、近畿大学との連携～

国有林のフィールドを活用した現地実習など森林・林業に関する人材育成等も含め、連携協力しています。



京都府立大学と協力し行った京都市内の中学生へのセンダンの説明



近畿大学の学生実習（京都府京都市 高台寺山国有林）